

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立西朝明中学校

校長 諸岡 篤

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

「四日市版コミュニティスクール」として歩み始め、本年度は6年目となりました。下野・八郷西両地区などの支援のもと、「防災@にしあさけ」の開催や地域行事への積極的な参加を通して、下記のねらいに基づき「地域とともにある学校づくり」を目指して教育活動に取り組んでいます。

- (1) 地域とともにある学校の実現をめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、今日的な教育課題について、学校外からの視点を加えて検討を進めることでより効果的な課題解決を図ります。
- (2) 教育活動を学校評価に起点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ改善に努めることで、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- (4) 様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域の資源を活用した教育をすすめる、生徒の地域コミュニティづくりへの参画意識を高め、地域に貢献できる人材の育成につなげます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

<6月「防災@にしあさけ 2024」>

今年度は、危機管理室や市民センターよりアルファ米を提供していただき、PTAに炊き出しを行っていただくことで、ほぼ通常の形で、地域防災訓練「防災@にしあさけ」を開催することができました。

第1部は、四日市大学鬼頭浩文教授「過去の災害から学ぶ地域防災」という演題でご講演会をいただきました。能登半島地震を中心に、被災地を何度も訪れ支援している視点から、被災した場合に備えてどんな準備をしておくとか、などについて、お話いただきました。



【1年生「地域防災・環境マップ」】



【2年生「初期消火訓練」】



【3年生「避難所運営ゲーム」】

第2部は学年別体験学習で、1年生「地域防災・環境マップ」の発表を地区市民センターや自治会長の方に聞いてもらいました。後日地域の民生委員の方からそのマップを参考にしたいというお言葉をいただき、まさしく地域とともに考える資料となりました。2年生では「初期消火訓練」で実際に地域に出て消火栓にホースをつないで放水する訓練を体験するとともに、起震車の体験も行いました。3年生では避難所運営ゲーム「HUG」を体験し、学校が避難所になった場合に、どのように人や物資を分けて避難所として運営していくかということ、地域の自治会の方々を考え意見を出し合いました。

今回の活動をとおして、生徒たちも防災への意識が高まり、実際に被災した時にどうするとよいかなどを考えることができました。

運営協議会からは、中学生の力を各地域行事においても発揮して欲しいとご意見いただきました。

<夏～秋 地域行事や活動への参加>

各地域より、中学生へのボランティア依頼があり、自主的な参加を募りました。各行事において人数の違いはあるものも、今年も生徒が地域のみなさんと一緒に活動する貴重な機会を得ることができました。

八郷西祭りのお手伝いには、地区生徒の有志を中心にやぐら設営やテント内整備に参加しました。秋の八郷フェスタには、1・2年生を中心にたくさんの生徒がミニゲーム等の運営係として力を発揮しました。一つの行事参加をきっかけに、地域の一員として参加していく行事が増えていくことで、地域で活躍する場面が増えていくことが期待されます。

普段から域の方からは生徒の一生懸命に活動する姿にお褒めのお言葉をたくさんいただきました。



<ゲストティーチャーを招いての講演会など>

八郷地区人権まちづくり推進協議会とタイアップをして、1年生を対象に、「LGBTQ について～誰もが過ごしやすいまちをめざして」という演題で、一般財団法人 ELLY の山口颯一さん自身の講演を聴きました。LGBTQ という言葉を見かけるようにはなりましたが、言葉だけでなく、どんなことなのか理解を深めていくためのお話となりました。副題にもあるように、誰もが過ごしやすいまちにするためにはどうしていくといいか。地域の方々と考える時間となりました。

また、音楽の授業では、本年度も山田先生にきていただき、お箏教室を開催

しました。慣れない爪に苦戦しながらも伝統の音楽に触れる時間となりました。

今後もさまざまな方な立場の方の講演や教室を行うことによって、今の生徒たちにとって必要な力をつけていきたいと思います。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ・ 地域をよく知る立場（連合自治会長・市民センター・主任児童員など）からご意見をいただくことで、現在の地域の現状とともに、地域が求める中学生の姿について、運営協議会を通して考えることができました。
- ・ 特に、「防災@にしあさけ」が継続して行えるのは、地域の関係者の方たち力が大きく、生徒たちも地域の一員として自分たちに何ができるかということを考えるよい取組となっています。学校と地域とのつながりを大切にした地域防災訓練の取組を今後も大切にしていきたいです。
- ・ ここ数年「部活動の在り方」について大きな課題であり、本校でも令和8年度以降の部活動について検討を重ねています。コミュニティスクール運営協議会でも意見を伺いながら、今後も進めていきたいと考えています。地域での行事参加についても自主的なボランティア活動と変更して2年目となりました。参加している子どもたちは生き生きと活動しており、地域の方からも大変うれしく活躍していただけたとの言葉もいただきました。生徒たちの中にも地域行事を大切にという心は養われているように思います。



3 今後に向けて

- ・ 本校の教育目標である「一人ひとりを大切にする教育の創造」の実現に向けて、生徒指導をはじめ、特別支援教育・登校支援など、一人ひとりにおうじた丁寧な対応を心掛け、学校と生徒・保護者のつながりを大切にして支援を続けていきます。また社会的自立を目指し、きめ細やかに対応するとともに、関係機関や地域の民生委員等との連携も密にしながら対応する

よう心がけます。

- ・ 論理的思考力推進事業を受けて2年目となり、教職員全員が0.5歩進むことを目標に研鑽してきました。教科関係なく日常の中で、教職員が新しい授業づくりについて語り合う場面も増え、生徒たちも自走する授業に楽しみを見出しつつあります。支援の必要な生徒への対応も含めて、子どもたちの思考力向上に向けて今後も学習に活かしていきます。
- ・ 行事などに生徒自身が主体的に取り組む姿も増えてきました。今後も、生徒たちの自主性も大切にしながら進められるように努め、生徒によい思い出となるよう、工夫して実施していきます。
- ・ 運営協議会を中核として、自主的な地域行事の参加を継続させるとともに、地域人材の活用を一層進めることで生徒の地域社会への参画意識を高めたいと考えています。
- ・ 本校の特色ある取り組み「防災@にしあさけ」では、他団体とも連携し「社会の一員として」「防災の担い手として」活躍できる中学生の存在が注目されています。避難所運営ゲームや地域防災訓練などを通して、地域に貢献できる人材を育成するだけでなく、地域とのつながりを大切にした教育活動を実践し、社会に開かれた学校を引き続き目指していきます。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立西朝明中学校

委員長 寺村 明彦

校 長 諸岡 篤

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会	・ 委員委嘱状交付 ・ 令和6年度学校づくりビジョン承認等
6		○論理的思考力向上授業公開参観 ○「防災@にしあさけ」参観
7	(四日市版コミュニティスクール委員 研修会)	
8		
9	第2回運営協議会	○1学期から夏季休業中の学校の様子について
10		○体育祭参観
11	第3回運営協議会	○文化祭参観 ・ 2学期の行事を振り返って ・ 学校関係者評価について等
12		
1		
2	第4回運営協議会	・ 学校教育活動の成果と課題 ・ 学校関係者評価等
3		○卒業式参列